

平成26年度 事業報告

基本方針

公益社団法人 岡山県シルバー人材センター連合会は、県内の高齢者が臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業、並びにその他の社会参加活動の機会をいつでも受けることができるようにするため、雇用失業情勢や国・県の関連施策等を踏まえ、各センターと一体となって、シルバー事業を推進するとともに、国・地方公共団体をはじめ、地域社会のシルバー事業に対する理解を一層深め、高齢者の多様な就業・社会参加の促進を図った。

また、岡山労働局からシニアワークプログラム地域事業を受託し、職業安定機関及び事業主団体等と連携して、高齢者の雇用を前提とした技能講習及び講習終了後の管理選考等を一体的に実施し、雇用・就業につなげることに努めた。

I シルバー人材センター事業

1 岡山県シルバー人材センター事業中期活動計画の推進

センターとの連携・協力の下に、県内全域にシルバー事業を浸透させ、各センターの運営基盤の強化等を図ることを目的に、次項2以下の事業を積極的に推進し、センター会員数及び就業機会の確保・拡大等の平成26年度活動計画の目標達成に取り組んだ。

◎ 平成26年度岡山県シルバー人材センター事業中期活動計画の推進

項目	① 26年度末実績	② 26年度末目標値	③ 達成率	
			①	②
会員数 (人)	7,897	8,765	▲	9.9%
就業実人員 (人)	7,071	7,603	▲	7.0%
就業延人員 (人日)	733,285	735,001	▲	0.2%
就業率 (%)	89.5	86.7		3.2%
受注件数 (件)	80,162	78,550		2.1%
契約金額 (千円)	3,284,058	3,341,729	▲	1.7%

2 受託調整

県内の高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、岡山県内で広域的に展開する業務について、岡山県当局及び県内外の民間事業所から有償で受託し、これをセンターと共同でセンターの会員に提供するとともに、県外の民間事業所が県内の特定地域において実施する業務についてもセンターと連携して受託し、センターの会員に提供することとしている中で、地元のセンターでは対応できない発注依頼について、近隣のセンターで行うべく受託調整をし、1件成立した。

3 センター会員の確保・拡大等普及啓発

県内全域で効果的かつ効率的な普及啓発活動を推進するため、普及啓発に係る指導・助言、情報提供を行うとともに、県民、官公庁、事業所への普及啓発、高齢者自身に対する意識啓発を行った。シルバー事業の理解と高齢者の就業機会の拡大を図るため、効果的な普及啓発活動を推進した。特に10月は、普及啓発促進月間であることから、集中的に普及啓発活動に取り組んだ。

(実施事項)

- ア 会報「連合シルバーおかやま」を2回(26年7月:1,600部、27年1月:1,600部)発行し、関係方面に配布した。
- イ 普及啓発用事業全般のPRパンフレット9,000部を作成し、各センター等へ配布した。
- ウ 「シルバーの日」を中心に、岡山市で開催された「ふれあいまつり2014」、倉敷市で開催された「いきいきふれあいフェスティバル」の会場において、関係シルバー人材センターと連携し、チラシ等の配布による普及・啓発活動を実施した。
- エ 女性会員募集用ポスター250枚作成し、各センターへ配布した。
- オ 普及啓発用パネルを各活動拠点に貸し出し、イベント会場で連合会及び活動拠点のPRを行った。

4 就業機会の開拓・拡大

県内全域で高齢者が自らの能力や希望に応じた就業機会を享受できるよう、就業機会開拓・拡大の推進のあり方を調査・研究し、同業務に係る指導・助言、情報提供を行うとともに、県内における広域的な仕事の需給調整及び就業開拓等を行うため、全シ協が取りまとめた「広域展開流通店舗」等の情報を各センターに提供したが、これらの店舗等の新規開拓等はできなかった。

(実施事項)

- (1) チラシ90,000部を作成し、各センターへ配布した。
- (2) 就業機会創出セミナーの開催
 - ※ 開催日：平成27年1月27日 場所：ピュアリティまきび
 - ・内容：講演会 テーマ「営業活動に必要な情報収集と問題発見力を磨く」
 - 講師：ニューサイト(株)代表者 土山 浩司氏(参加者52名)
- (3) シルバー人材センターの活用依頼に係るアンケート調査の実施
就業分野の開拓・拡大を図るため、県内の企業300社を対象に、アンケート調査を実施した。(1月)
- (4) 福祉・家事援助サービス担当者等研修会の開催
 - ※ 開催日：平成27年2月19日 場所：ホテルメルパルク OKAYAMA
 - ・内容：研修会テーマ「基本とコツを押さえて価値ある仕事を」
 - 講師：(有)グーテンターク 代表 重康 千恵子氏(参加者58名)

5 安全・適正就業

県内全域で安全・適正就業対策を効果的かつ着実に実施するため、安全・適正就業年間事業計画の策定、安全・適正就業の推進に係る指導・助言・研修及び情報提供を行うとともに、センターの会員の安全意識の高揚と啓発活動を行ってきた結果、事故件数は減少した。

(対前年度比16%減。)

なお、適正就業に関しては、法令厳守の徹底を図り、「適正な受託と就業のための自主点検表」の積極的かつ計画的な活用により、雇用と受け取られかねない就業については、一般労働者派遣事業への切り替えや有料職業紹介事業による是正を進めており、昨年11月17日には全ての法人設置センター及び連合本部が、労働局へ労働者派遣事業の届出を完了した。

また、安全・適正就業は、シルバー事業の根幹であることから、連合会未加入センターについても安全・適正就業に係る助言・支援を行った。

(1) 第1, 2回 安全・適正就業委員会委員、推進員合同会議を開催（7月1日、12月8日）

(2) 安全・適正就業パトロールの実施

安全・適正就業強化月間の7月を重点とし、21センター（延38センター）を訪問し、安全・適正就業管理体制の指導を行うとともに、就業現場を巡回し、会員の安全・適正就業への意識の高揚を図った。

なお、7～8月は、同委員会委員長及び副委員長によるパトロール指導も実施した。

(3) 安全・適正就業推進大会の開催

※ 開催日：12月8日 場所：ピュアリティまきび

・内容：連合会安全・適正就業担当者による全国指導員会議の概要報告

「労働局の臨検指導の概要」報告及び「派遣事業への切り替えや、新規派遣先の開拓状況等」について意見交換

講演会の開催

「安全の誓い」の唱和

(4) 安全・適正就業講演会の開催

※ 開催日：7月1日 場所：ピュアリティまきび

・テーマ「夏場の健康管理」

講師：三菱化学(株)水島事業所 産業医学相談員 成松 勇人 氏

※ 開催日：12月8日 場所：ピュアリティまきび

・テーマ「安全な就業のために」

講師：中央労働災害防止協会 中国四国安全衛生サービスセンター 専門役 船本 五郎 氏

6 調査研究

県内全域のシルバー事業を発展・拡充するため、高齢化の状況、高齢者を取り巻く雇用失業情勢及び地域社会のニーズ等を分析しながら、広域的な仕事の需給調整や事業の共同化など、県内のシルバー事業の質の向上と効率的な運営を図るための特定のテーマに関する調査研究や、一年度間の本事業の実績の集計等を行った。

シルバー事業の実績及び調査結果については、事務所での閲覧及びホームページ等により公開を行った。

7 一般労働者派遣

一般労働者派遣事業の実施事務所と一体となって、一般労働者派遣による就業機会の提供を行うため、連合本部・実施事務所・センターの役割分担を定め、県内全域の一般労働者派遣事業に係る事業計画の策定、事業の適正実施に係る統括、行政への各種届出、会計の統括管理等を行った。

なお、平成26年12月1日現在、岡山労働局へ全ての法人センターと連合本部が一般労働者派遣事業の届出を行い、一般労働者派遣事業に取り組むことができることとなった。

8 職業紹介

平成26年度から有料職業紹介事業に取り組んでおり、職業紹介実施事務所を通じて、臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な業務に係る仕事を希望する県内の高齢者を対象に、職業紹介による就業機会の提供を行うとともに、連合本部事務所においては、求人事業所や求職者の広域調整、県内全域の職業紹介事業に係る統括管理、有料職業紹介を行った。

なお、紹介就職件数は、井原市・早島町事務所において、各々1件成立した。

また、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会主催の職業紹介責任者講習会への参加を促し、法令を遵守した適正な職業紹介事業に取り組んだ。

9 その他事業を発展・拡充するための指導・助言、情報提供等

地域社会のニーズや制度改正等に的確かつ円滑に対応することができるよう、専門的又は実践的な指導・助言を岡山労働局や岡山県と実施するとともに、各種の情報提供を行った。

(実施事項)

- (1) 各センターの概況(26年8月:210部)及び事業運営状況調(9月:250部)を作成し、関係方面に配布した。
- (2) 全シ協の委託を受けた連合本部事務局長による個別指導を実施した。
 - ・対象拠点:(公社)総社市シルバー人材センター(11月26日)
 - ・対象拠点:(公社)早島町シルバー人材センター(12月22日)
 - ・対象拠点:(公社)津山市シルバー人材センター(1月13日)
 - ・対象拠点:(公社)新見市シルバー人材センター(1月29日)
- (3) 岡山県が実施した法人センターに対する公益法人立入検査に立会した。
 - ・対象拠点:(公社)備前市シルバー人材センター(12月18日)
 - ・対象拠点:(公社)津山市シルバー人材センター(1月13日)
 - ・対象拠点:(公社)玉野市シルバー人材センター(1月19日)
 - ・対象拠点:(公社)新見市シルバー人材センター(1月29日)
 - ・対象拠点:(公財)岡山市シルバー人材センター(2月6日)
 - ・対象拠点:(公社)笠岡市シルバー人材センター(2月9日)
 - ・対象拠点:(公社)瀬戸内市シルバー人材センター(2月20日)
- (4) 岡山労働局が実施した委託事業に係る実地検査を受けるとともに、法人センターに対するシルバー事業補助金に係る経理事務指導に立会した。

また、(公社)浅口市シルバー人材センターと(公社)総社市シルバー人材センターが、一般労働者派遣事業の実施状況について同局需給調整事業室による指導が行われるとともに、(公財)岡山市シルバー人材センターに対しては、請負事業に係る臨検指導が実施され、改善指導書が発せられた。

(委託事業実地検査等)

- ・実施日:5月13日、10月22日
- ・対象機関:(公社)岡山県シルバー人材センター連合会

(経理事務指導)

- ・対象拠点:(公社)浅口市シルバー人材センター(11月19日)
- ・対象拠点:(公社)真庭市シルバー人材センター(11月20日)
- ・対象拠点:(公社)総社市シルバー人材センター(11月26日)
- ・対象拠点:(公社)和気町シルバー人材センター(12月2日)

- ・対象拠点：(公社) 井原市シルバー人材センター（12月4日）
- ・対象拠点：(公社) 早島町シルバー人材センター（12月22日）

(5) 人手不足等の就業先を積極的に開拓し、労働者派遣事業や請負事業の取り組みの充実を図ることを目的に、「調査・検討委員会」を開催し、3回の検討・協議を重ねた。

(調査・検討委員会開催状況)

第1回：平成27年 2月 2日

第2回：平成27年 2月25日

第3回：平成27年 3月24日

(委員選任センター等)

赤磐市・備前市・笠岡市・井原市、岡山市・倉敷市、真庭市・美作市の8センター及び連合会本部。

なお、委員選任センター以外のセンターも、オブザーバーとして随意参加した。

10 地域ニーズ対応事業

地域社会の特性（地方公共団体の地域活性化、福祉プラン等）に対応し、地方公共団体と連携・共同した地域ニーズ対応事業に積極的に取り組み、地域社会に貢献するとともに就業機会の拡大を図った。

(旧企画提案実施)

倉敷市、総社市、津山市、笠岡市、井原市、赤磐市、和気町、浅口市、真庭市の9センター（地域ニーズ対応事業実施）新見市センター

II シニアワークプログラム地域事業

働く意欲のある高齢者の雇用・就業を促進することを目的として、就職を希望する55歳以上の高齢者を支援する「シニアワークプログラム地域事業」（以下「地域SP事業」という。）を岡山労働局から企画競争により受託し、ハローワーク、センター、事業主団体等との連携・参画・協力のもと、雇用を前提とした技能講習、管理選考等を実施した。

(1) 高齢者活用啓発事業の推進

ア 業種別事業主団体に対する高齢者雇用の啓発

事業主団体を訪問し、地域SP事業の趣旨・事業内容を説明し、事業への参加・高齢者雇用の協力を求めた。

イ 個別事業主への訪問による啓発

個別事業主を訪問し、地域SP事業の趣旨・事業内容を説明し、事業への参加・高齢者雇用の協力を求めた。

ウ 高齢者雇用に係る会議等での啓発

公共職業安定所が開催する退職準備セミナー等において、高齢者雇用・就業の必要性及び地域SP事業について説明し協力を求めた。

エ 啓発資料の作成、配布、広報誌等への掲載

啓発用パンフレット（16,000部）、チラシ（523,200枚）、ポスター（150枚）を行政機関・センター・事業主団体等へ配布するとともに、新聞広告、日刊紙への折り込み等により地域SP事業の周知を図った。

(2) 企業ニーズ把握及び地域SP事業の周知・広報

ア 企業の雇用ニーズアンケート調査の実施

ハローワークへの求人掲載があった企業（700事業所）、岡山県経営者協会の会員（380事業所）に対して、「高年齢者の雇用に関するアンケート調査」を実施し、企業の雇用ニーズを把握するとともに、事業所訪問のための基礎資料として活用した。

イ 新聞・広報誌等による技能講習、管理選考の周知

高年齢者活用啓発事業の推進と併せて、新聞・広報誌等による地域SP事業の技能講習、管理選考の周知・広報を行った。

ウ 事業所訪問による周知及び求人開拓

事業所訪問により地域SP事業の技能講習、管理選考等の周知を行うとともに、地域SP事業修了者等に対する求人開拓を行った。

エ 求人・求職者に対する周知・広報

ハローワークと連携し、求人・求職者に対する地域SP事業の受講者募集及び管理選考の周知・広報を実施した。

(3) 技能講習事業の実施

事業主団体の参画・協力を得て、55歳以上の高年齢者を対象とした技能講習を、次のとおり実施した。

【 技能講習計画一覧表 】

区 分		講習回数(回)	受講定員(人)	受講者数(人)
技能講習	年間計画	48	950	
	実施状況	48	950	955

(4) 導入支援の実施

技能講習受講希望者に対して、的確かつ効果的な就職支援を行うため、相談、助言の導入支援を実施した。

(5) 職業紹介事業の実施

技能講習を修了した高年齢者を対象に、関係ハローワークが開催する管理選考に連携・協力するため、事業所訪問を積極的に行い、管理選考への事業主の参加勧奨や求人確保を図るなど、ハローワークと一体的となって職業紹介事業を実施した。

(6) フォローアップの実施

上記(1)から(5)までの事業により就職に至らなかった者に対して、ハローワークの協力・連携のもと、職業相談、その他就職に資する各種継続的な支援を実施した。

Ⅲ 諸会議の開催

1 シルバー人材センター事務局長会議

- ・第1回：平成26年6月10日

定時総会提出議案、第1回都道府県連合事務局長会議の伝達等を行った。

- ・第2回：平成26年9月24日

第2回都道府県連合事務局長会議の概要の伝達、基盤拡大事業・地域ニーズ対応事業及びシニアワークプログラム地域事業の説明等を行った。

- ・第3回：平成27年1月26日

第3回都道府県連合事務局長会議の概要の伝達、第3回理事会決議事項の伝達等及び全シ協によるシルバー派遣の積極的推進についての緊急指導会議を行った。

- ・第4回：平成27年3月25日

平成27年度事業実施計画等、第4回理事会決議事項の伝達等及びシニアワークプログラム事業技能講習一覧や高齢者活躍人材育成事業の説明等を行った。

2 初任者研修

平成26年4月25日：事務局長以下連合会職員が、拠点の新規採用等職員を対象にシルバー人材センターの理念やシルバー人材センター事業の概念等また法人運営の基礎等についての研修を行った。（参加者11名）

3 業務担当者研修会

平成26年10月21日：拠点の業務担当職員が、「就業機会の拡大」と「会員の拡大」のため実践していることについて情報交換し、話し合った。（参加者29名）

4 会計・経理担当者研修会

平成27年2月13日：衣目公認会計士事務所の衣目成雄氏を講師に迎え、「消費税の制度変更について」、「立入検査における実務上の留意点について」の研修を行った。（参加者31名）

Ⅳ 法人管理事業

1 会員の状況

- ・正会員 21団体（異動なし）
- ・賛助会員 21市町（異動なし）
- ・未加入 6団体

2 理事会、定時総会の開催

- (1) 理事会 4回 (6月3日、6月23日、11月7日、3月18日)
- (2) 定時総会 1回 (6月23日)

以上

附属明細書

平成26年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以 上